

第1回おおさかスマートエネルギー協議会議事概要

開催日時：平成26年5月29日（木）午前10時～正午

場 所：大阪府咲洲庁舎 18階 会議室

1. 今夏の電力需給について

- ・関西電力より、今夏の電力需給見通しの説明と節電のお願い。

【主な質疑等】

- ・計画停電になると景気の低迷につながる可能性もあるので、そのようなことがないようにお願いしたい。
⇒ 昨夏に比べると、計画段階で100kWほど供給力を増やしている。全てのお客様に停電のお願いをさせていただいて、かつできるだけ事故の未然防止に努める、さらには万が一のトラブルの際にもできるだけ早期に対応できる状況にする。計画段階では、かなり安全サイドの数値を出している。

2. 省エネ、創エネ等に関する各団体の取組紹介

- ・各団体からそれぞれの省エネ、創エネ等に関する取組みについて紹介。

（大阪府生活協同組合連合会）

- ・全国の生協で太陽光発電等の導入を進めている。市民協同発電の形で導入する動きも少しずつ広がっている。

（なにわの消費者団体連絡会）

- ・震災直後は、各団体と一緒にエネルギー問題に関する勉強会や啓発などをかなりやっていたが、今は少し落ち着いている状況。
- ・食の安全、環境問題など、様々な消費者問題を学校教育の中でやっていただくため、大阪府の消費者教育推進計画への意見をするなどをしていこうとしている。

（関西経済連合会）

- ・今夏の節電取組みに関する調査を実施したところ、25～30%が昨年と使用電力が同じか増えると回答しており、危機感を持っている。
- ・省エネセミナーを開催するなどのほか、関西広域連合と連携して、企業から社員に対し、社員の家庭での節電をお願いしてもらおう、という取組みをしようと考えている。
- ・学校での土曜日の課外授業などで、エネルギーを勉強する機会を提供する検討を始めた。

（大阪府中小企業団体中央会）

- ・エコアクション21の地域事務局として、中小企業に広めているが、なかなか浸透しない。
- ・このたび大阪府はエコアクション21を入札の加点に反映してくれ喜んでいるが、建設業種の一部に限定されており、他の業種にも広げていただきたい。

（関西電力）

- ・節電のコンサルティングについては、「見える化」して使用量をみていただくシステムを活用してもらい、節電活動に活かしてもらうことに注力している。

(大阪ガス)

- ・カーボンオフセットの取組みとして、高効率ガス機器等を導入したお客様からクレジットを買取り、サッカーの試合等で排出されるCO2をオフセットした。この取組みにより、カーボンオフセット大賞で経済産業大臣賞を受賞した。

(大阪市)

- ・各区でポロシャツをつくって、各区が競争して節電に取り組んでいる。
- ・おおさかスマートエネルギーセンターの知名度を上げるため、大阪商工会議所の支部や工業会などを回ってPRしている。

(堺市)

- ・国の太陽光発電への補助制度がなくなったこともあり、市の太陽光補助制度を見直し、スマートハウス化支援事業として、HEMSや燃料電池等を含めた補助制度とした。
- ・事業者に対しても、BEMSやコージェネへの補助を実施している。

(貝塚市)

- ・家庭の太陽光発電やコージェネへの補助を実施している。
- ・グリーンカーテンとか、見える化機器の貸出なども行っている。

(大阪府)

- ・太陽光発電への融資事業や災害時に避難所となる施設に太陽光発電と蓄電池導入への補助、屋根貸し等、再エネの普及施策を実施している。
- ・また、おおさか版 BEMS 事業者登録制度を創設した。

(近畿経済産業局)

- ・省エネや再エネに関する講演や事例集の作成、ホームページやメールマガジンでの情報発信などを行っている。
- ・その他、スマートコミュニティの推進やJ-クレジット制度の普及促進を行っている。

3. 平成 26 年度のテーマについて

- ・事務局より、今年度のテーマ案について説明。

【主な質疑等】

- ・家庭部門会議で、家庭の省エネを進めるためには、省エネ家電への買い替えなどが有効な手段だと思うが、市町村の取組みとも関わる部分なので、部門間の連携も模索していくことが必要ではないか。